

「社会的養護からの自立～実体験を通して課題と提言～」

金城さや佳（株式会社サンエー）

課題【社会的養護の下で生活すること】

- (1) 自己肯定感の喪失（落ちこぼれの意識）
- (2) 社会生活における経済感覚の未習得
- (3) 将来の選択肢の限定（大学進学率、中途退学）
大卒、高卒の給与格差
- (4) 進学、就職、賃貸契約における保証人の問題
- (5) 施設退所後の家族や地域社会との関係（家族を亡くしている子どもの孤独）
- (6) 貧困の連鎖（生活保護受給、自分の子どもを施設や里親に預ける）

提言【社会的養護からの自立に向けて】

- (1) 学習支援。学習ボランティア、無料塾の活用。
勉強の意味を理解する。
- (2) 施設在籍中からの経済教育（家賃、生活費、年金、税金の知識）
なるべく施設職員以外の方が望ましい。

(3) 支給制奨学金の充実 (貸与の場合の延滞リスク)

授業料の全額免除

家賃援助 (NPOの活用)

単身低所得者向けの住居

(4) 保証会社の活用、施設出身者や里親家庭への社会の理解

(5) アフターケアの充実。専門職員の増員。職員の知識、専門性の向上。

施設在籍中から家族、施設関係者以外との関係構築。

(6) 孤立の防止。助言、援助してくれる人間関係の構築。